

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

自身の体験や学んだことを英語で表現

大宜味村教育委員会
電話 44-3006
FAX 44-3020

2年生大城璃來さんが学校代表に決まる！



The 1st Ogimi Junior High School Speech Contest

8月26日（木）、大宜味中学校（具志堅仁一校長）において、多目的室と各教室をリモートでつなぐ形で「The 1st Ogimi Junior High School Speech Contest」が開催されました。自身の体験や将来の夢を英語で話す今回のコンテストには夏休みから練習を重ねてきた1年生～3年生まで5名の希望者がエントリー。

水泳に出会ったことで自分に自信を持てるようになったと話した溝川唯花さん、村でも見かける救急救助ヘリについて知り、救える命を救いたいと考えフライトドクターになる夢を語った高良心さん、おじいさんから聞いた沖縄戦の話を聞いて「命どう宝」を世界に広めたいと話した大城璃來さん、バスケットボールを通してコミュニケーションの大切さを伝えた奈良樹さん、LGBTの話聞き、みんながどこでも自分らしく生きるために理解することや歩み寄ることが自分にできることだと話した藤田雫さん。

スピーチの内容、発音、表現力から名護市教育委員会指導主事の千葉晶子先生、名護中学校の松田千草先生、大宜味中ALTのエリック・ピーターソン先生が審査し、見事2年生の大城璃來さんが1位に。高円宮杯第73回全日本中学校英語弁論大会の国頭地区予選への出場を決めました。

璃來さんは「学校代表に選ばれて嬉しかった。家族や学校の先生、支えてくれた人みんなに感謝したい。表情を豊かにしてジェスチャーも加え、地区大会では学校代表としてみんなの分まで頑張りたい」と意気込み、9月16日の大会では大宜味中を代表して素晴らしい発表を見せてくれました！おめでとうございます！



学びに活かして！あがり会より大宜味小・中学校へ図書寄付

9月22日（水）、大宜味住区の区長と役場管理職からなるあがり会（山城初子代表）より大宜味小・中学校の図書室に図鑑や絵本、漢字辞典などたくさんの本が寄贈されました。

生きものや宇宙、乗り物など幅広いジャンルを揃えた図鑑は小学生も中学生も喜ぶ一冊。漢字辞典も1クラス分（28冊）あり、これから授業で活用していきます。

あがり会のみなさん、貴重なご寄付ありがとうございました！



～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第7回 教育委員会会議 令和3年8月26日（木）午後2時 開催

＜審議事項＞

- 議案第13号 大宜味村学校管理規則の一部を改正する規則 《原案可決》
- 議案第14号 大宜味村立小中学校共同学校事務設置要綱の一部を改正する訓令 《原案可決》
- 議案第15号 大宜味村立学校職員服務規程の一部を改正する訓令 《原案可決》
- 議案第16号 大宜味村立学校評議員設置規程の一部を改正する訓令 《原案可決》
- 議案第17号 大宜味村立学校処務規程の一部を改正する訓令 《原案可決》

※議案第13号から議案第17号の5件の規則及び訓令について、字句、条項の整備が必要なため、今回の会議にて議決をしました。

図書室情報 No.26 2021年（令和3年）10月 大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内） 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

利用状況累計

○来室者数…のべ 1,197人

○貸出冊数…2,275冊

○登録者数…104人

★現在の蔵書数…6,282冊+県立図書館の本500冊

9月の統計（9/27まで）

○来室者数…のべ 52人

○貸出冊数…113冊

新着（リクエスト）本紹介 ※10月中旬～貸出予定



来室の際は マスクの着用、手指の消毒、できるだけ少人数でのご利用をお願いします。体調の優れない方は来室を控え、ご了承ください。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

10月図書室カレンダー 閉室日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月22日はシークワサーの日♪ 特産品を味わおう！小中学校でシークワサー給食

シークワサーの日にあたる9月22日（水）、大宜味小・中学校でシークワサーの果汁や実を使ったシークワサー給食が振舞われました。

この日のメニューは沖縄焼きそば、鶏肉シークワサーかけ、ゴーヤーとモーイのツナ和え、黒糖アガラサー（JAおきなわ提供）、牛乳。

鶏肉のシークワサーかけはシークワサーソースと薄切りにしたシークワサーが使われており、ツナ和えにもシークワサー果汁を使った爽やかな一品。

1年生の教室では栄養士の上野聖子先生が今回の献立に使われたシークワサーについて説明してくれました。

聖子先生は「シークワサーを食べると疲れた体が元気になり、シークワサーの香りは心を元気にしてくれます。味も香りも楽しんでください」と話しました。

お肉も野菜ももりもり食べる1年生たち。おいしいメニューに笑顔の花が咲きました。



使って慣れよう！楽しもう♪ 大宜味小 ICTを活用した授業

ICTの導入から約半年、大宜味小学校、中学校の授業でも所々でタブレットを使用するようになりました。なかなか落ち着かない新型コロナウイルス。今回、長期休校になった時に児童たちが各家庭で授業を受けることを想定して、小学校でオンライン授業の練習が行われました。

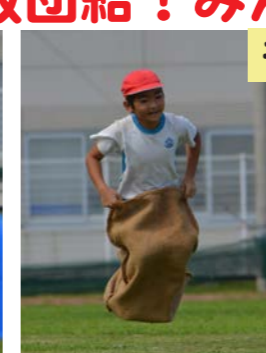
まず、各自のタブレット端末からオンライン授業へのつながり、出席確認。先生の呼名でタブレットにある「手」のマークをタップすると出席の確認が取れます。他にも画面の切り替えなど基本的な操作を確認し、オンライン授業に備えた準備をしました。

次の時間は教室と多目的室に分かれ、社会の授業に挑戦。ロイロノートを使い、先生が映し出す教科書と自分の手元にある教科書を見比べ重要なポイントに線を引く、タブレット端末の操作ではワークシートに答えを入力しました。最後はできあがったワークシートを画面上にあるボックスに入れ提出。授業の一連の流れを確認しました。

日頃の授業で使うことで、万が一の場合にも対応できるよう児童、先生も着々と力をつけています。



教室と多目的室に分かれてお試し遠隔授業



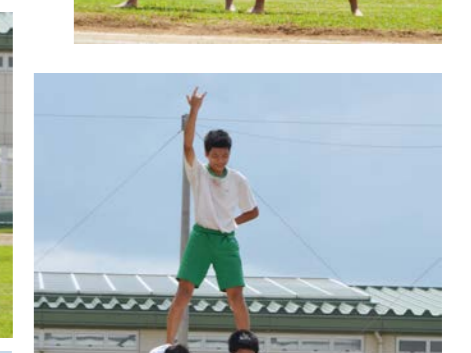
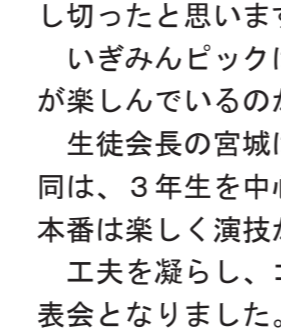
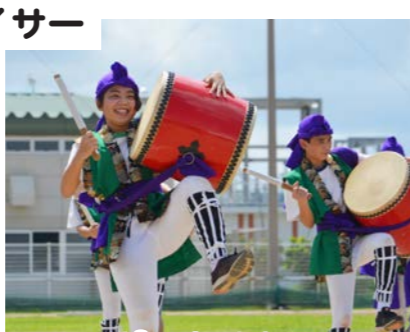
9月17日（金）、大宜味小学校で「体育発表会」、大宜味中学校で「いぎみんピック」が開催されました。今年はコロナウイルス感染拡大防止のため運動会の規模を縮小し、午前中に小学校、午後に中学校の発表。

体育発表会では短い練習時間でしたが、1年生から6年生まで力いっぱい演技を発表。児童会長の宮城泰利さんは「感染拡大に気を付けながらどの学年も今日の本番のために『全力 気合 一致団結 みんなかがやけ いぎみっ子』のテーマのもと頑張ってきました。今日の演技は1年生から6年生まで100%の力を出し切ったと思います」とあいさつしました。

いぎみんピックはどの種目も生徒の決意発表で始まり、みんなが楽しんでいるのが伝わってくる笑顔はじける発表。

生徒会長の宮城はちさんは「逆境にぶつかっても私たち大中一同は、3年生を中心に今まで練習に励んできました。おかげで本番は楽しく演技ができたと思います」と締めくくりました。

工夫を凝らし、コロナ禍でもできることを見せてくれた体育発表会となりました。



村史編さんだより

第126号 2021年10月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

令和3年度 第1回村史編さん委員会開催報告！

8/27（金）新型コロナの影響で延び延びになっていた第1回村史編さん委員会を、感染防止に充分配慮の上、開催しました。会議では、現在作業を進めている「人と自然編」の進捗状況及び発刊に向けた詳細なスケジュールについて・「写真集」専門部会設置について・次年度以降の村史発刊計画についての協議が行われました。

今年度発刊に向けて編集中の「人と自然編」は、執筆原稿の確認と、各字調査で採取した動植物の方言名を、「言語編」でご采配をいただいた新里幸昭先生監修の下、音声表記の確認作業が進行中です。「写真集」専門部会設置については、事務局で人選した方々が専門部会員に承認され、部会設置を以て「写真集」もいよいよ動き出します。残る通史・資料編についても、並行して資料収集、素案作成などを鋭意進めておりますので、今後とも村民皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

戦前～昭和時代の写真を集めています♪

★古い写真の情報お待ちしています★



▲塩屋の集落（1951年）



▲塩屋湾で牡蠣の養殖（1951年）



▲大国トンネル（田嘉里）



▲エーガイからの通学路（押川 1959年）

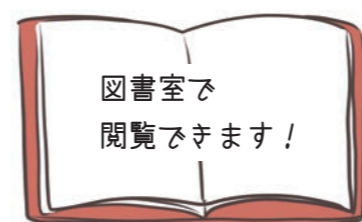


▲辺土名高校のコンセット校舎（戦後）



▲昭和9年完成の大保橋

～寄贈図書のご紹介～



図書室で
閲覧できます！

- 恩納村史 第2巻 考古編（2020/12/28）
- 沖縄県立博物館・美術館企画展 沖縄の藍（2021/1/22）
- みんなの文化財図鑑 無形文化財編 民俗文化財編（2021/3/1）
- 久米島町史 資料編1 久米島の戦争記録（2021/3/30）
- 竹富町史 第十一巻 資料編 新聞集成Ⅷ（2021/3/31）
- 歴代宝案 訳注本 第8冊（第2集巻90～104）・・・他

『杣山制度論』（仲吉朝助著、明治三十七年）を読む 十一（村史だより一二五号より続き）

※旧漢字・仮名使いは現代風に改め適宜句読点をつけるとともに一部訳文をつけた

第六章 杣山の造林

第一 仕立敷

山奉行所は仕立敷の樹木の仕立、手入に関しては概ね各種についてこの如き手続を示達し尚、実地監督指導等も過半は仕立敷に関する件なるのみならず間切、村においても又大に仕立敷に力をつくしたるは、第四章に掲げたる山勝負審査事項を見るも、思ひなかに過ぐるものあるべし。要するに仕立敷なるものは杣山造林の重要作業にして、従来官民共にこれがために投じたる労力費用すこぶる大なるものなり。

然れども仕立敷はこの如く重要な関わりなく、敢えてみだりにこれがため普通の森林を侵すことを許さず。即ち一方においては

- 一、杣山、里山これ内松雑木相応に立延最早用木罷成候木切明け樫木、イク、イヂユ、杉仕立候儀不了簡これ至不宣候右数木仕立候場所は無用これ曲木、小木見合切明可相仕立候（杣山や里山内で松や雑木が多くなり用木となる木を切り尽くした場合、樫、イク、イヂユ、杉を仕立てる場所は無暗に増やさず曲木、小木もよく考えて切り明け仕立を為すこと）

一、杣山敷少く有これ候間切は松、雑木随分盛生させ候働肝要候右通少く有これ候山敷へ樫木、相杯過分仕立置候わば平常渡世これ用木少く罷成却て間切此れ為不罷成績に候（杣山が少くない間切は松や雑木をよく成長させることが肝要で、このような山に樫等を過分に仕立てることは通常の用木が少なくなり間切全体の成績減に通じる）

（以上杣山方式仕次）
を達し以て仕立木と共に他の雑木も大切なるを示して無謀に仕立敷を選定することを戒めたり。琉球藩庁が杣山に対する注意の周到なるすこぶる称するに足る可し。

第二 憔悴山の仕立換

乱伐若くは防風の害を蒙り良材大木殆ど耗尽して枯れたる枝梢大木老曲木のみ残存したる山林は、琉球藩はこれを憔悴山と名づけ常にその林相を回復することを務めたり。

藩庁が所謂憔悴山の林相を回復するの手段として施行したるものは、憔悴山の仕立換これなり。仕立換とは即ち、林木の更新を行うものにしてその方法は、山奉行においていわゆる憔悴せる林相を呈したりと認めたるときは、その部分を区画し周囲には相当の防風林（之を抱護と称す）を残存し、この抱護内樹木を伐採して整地をなし、これに適當なる樹苗若くは樹種の天然繁殖若くは人工増殖を計りたり。今その手続に關し間切、村に命令したる達を掲ぐれば左の如し。

一、樹木憔悴致したる山は魚鱗形を以て相開（魚鱗形に区画しその周囲に防風林を残しその内部を開墾するを云う）諸木相仕立候得ば山氣相含能生致し候最も自然に種子入渡生産候間その節有来候曲木は山工（伐採）致し候程樹木抜群盛生可致候間その了簡肝要候

一、薄原にて薄高五、六尺程相立候場所は薄能抱護にて候間魚鱗形に相開き内に諸木可仕立候（ススキ原が高さ二五〇〜一八〇cmの場所はよい抱護になるので間を魚鱗形に開き諸木を植え付けること）

付、薄高五、六尺程立候わば魚鱗形差渡四、五間程相明け可燃候抱護は横三尺程可相残候

一、芽生茂り候地所は芽抱護にて相濟候間魚鱗形相開き内に諸木可相仕立候付、魚鱗形差渡一間程相開へく候芽抱護は横二尺程相残しヶ年候最抱護の薄芽長短により魚鱗形広狭見合肝要に候（延享四年の山奉行所達）

而して此の仕立換をなすに当りては、特にその地力を保存することを計りて藩庁は左の如く規程せり

一、杣山内樹木仕立候とて藪山薄原これ場所態と焼明伐明年季を以作毛仕来候共右これ仕様にては却て山氣相洩杣山これ為不宣候間向後召留候尤も右の場所は法様これ魚鱗形を以伐明諸木種子入盛長さ候儀可為専（杣山方式仕次）

即ち仕立換をなすべき部分に対し年期を定め開墾農作をなし、期限後に至り樹木を植付くるは古来の慣例なりしが如きも、此の方法は既に右の達に依りて禁止されたるや明かなり。然れども面積広大なる杣山に在りては常に憔悴山を出し、従てこれが仕立換の爲めにその担当の間切、村は毎年巨額の労費を投じたるや論を待たず。

故に藩庁は一旦右の禁令を發布したるも敢てこれを勵行せず、担当間切、村にして事情を訴えて請願すれば、山奉行は三年乃至六年の期限を定めてこれを許可するを例とせり。（藩庁は右禁令を出したものの敢て強制せず、陳情により山奉行は三年から六年の期限を設け有用木を植付けるために開墾した土地での農作を許可した。この如く林木更新の爲めに杣山を開墾して農作するを名づけて開墾作職と云う。その実例を掲ぐれば左の如し。）

㊦ 口上覚 ㊦

今帰仁間切 兼次村

一、赤あめきや山七千坪（以下山字を列記せるも茲に略す）

ㄨ拾二萬坪

右（中略）山敷之儀極々及憔悴數十年相経候も御用木出来不申体にて仕立換不仕候て不叶殊に右村々之儀本地喰実敷狭薄之処にて飯料統兼候振合御座候間當年より来西年迄四ヶ年開地作職御免にて（右は深刻な憔悴山で十年も経過し御用木を出すことも仕立換も叶いませんが、村々の飯糧を耕作する場所として、当年より四ヶ年間は仕立換を免じてください）西秋所造作を以山御奉行御見分之上底々はイチヨ苗植付腹々は松種子時入候様仰付被下度奉願候云々威豊八年（我安政五年）午正月間切吏員連署（今帰仁間切保管の日記）

備考・右願書口上覚の上下に捺せし印は許可の証にして上部は総山奉行下部は主任山奉行の印なり

（※訳文は大意を記す。浅学につき御笑覧の上、御教授請う 文責：新城）



「しまふとうば」ぬくとう 69



ウンガミと神酒（ミキ）

ウンガミは旧盆明けの最初の亥の日に行われる。神人（ハミンチュ・カミンチュ）による祈りから始まって祈りで終わる神行事である。行事の遂行上欠かせないものがある。神酒（ミキ）である。昼間のウンガミ行事が終わり、地域の人が集う夕方に神酒がふるまわれる。個人的には神酒が大好きである。神行事で使う神酒だけでなく各家庭に配る神酒も地域で作るので、いつも大きめの容器に入れてもらい冷蔵庫に保管する。毎日少しずつ味わいながら飲み、2週間ほどは楽しく神酒を飲んでい

る。・・・一昨年まではそうであった。

コロナ過でウンガミ行事も神行事のみに縮小され、地域にふるまわれる神酒もなくなった。

今年のウンガミは300mlほどの容器を袋に忍ばせてウンガミ行事の流れを見てきた。屋古か田港のアサギで神酒がもらえることを願って。田港で都合よく神行事が終了した流れの中で自然な形で神酒を飲みつつ準備した容器に神酒をもらうことができた。

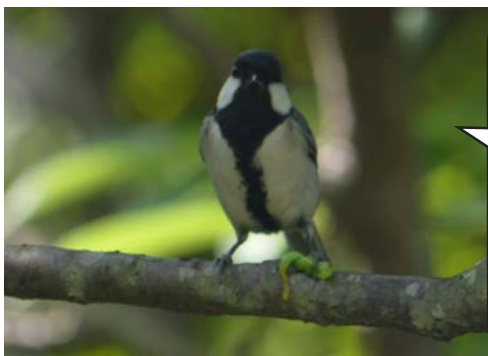
この2か年間はウンガミ行事の縮小により、従来のように神酒を飲んでないのでウンガミが終わっても心の片隅に神酒をもっと飲みたいという欲求が出てきた。それではと、自分で作ってみることにした。幸いに塩屋区の中の塩屋(サーバル)のレシピがあるのでそれを参考にした。材料は米500g、サツマイモ300g、砂糖100g程。米をお粥状に炊いて千切りにした芋を入れ、炊き終えたら砂糖を加えて冷まし、ミキサーにかけて粘状になったものを一晩発酵させる。翌日には神酒独特の発酵の香りがした。黄金色の甘い安納芋を使ったので少し黄みがかかった甘い神酒に仕上がっていた。2ほど出来たので冷蔵庫に保管し、毎日少量ずつ飲み、2週間ほど楽しむことができた。砂糖を控えめにすれば栄養満点の乳酸飲料である。また作ってみようと思う。

ちなみに沖縄県工業技術センターは平成21年度に塩屋の神酒を用いて「琉球地域の伝統飲料「ミキ(神酒)」の発酵に関わる微生物の特性」という研究報告を発表している。

ふたび（今年）ウンガミや ミキンあたらんとう どう（自分）一し作ていから
 拝ぎてい飲むん



今月の生きもの



シジュウカラ：シジュウカラ科

ど〜も、私シジュウカラです。ピンボケしていてごめんね。実はみんなの身近にいます。ツツーピー、ツツーピーって鳴いているんだけど、聞いたことあるかな？私たちシジュウカラを見分けるポイントはおなかのネクタイ。と言っても、沖縄では私と見間違えそうなヒガラやコガラを確認することはないと思います。って、まだ食事中だった。やんばるは私たちの餌となる虫が多くて過ごしやすいわ〜♪

10月の行事予定

1日（金）区長会	10月13日	21日（金）（小5）宿泊学習 ~ 22日
4日（月）わんぱく体験団		27日（水）チャレンジデー
6日（水）（園）運動会	サツマイモの日	28日（木）定例教育委員会議
8日（金）（小・中）授業参観		30日（土）県立移動図書館
（小）村内童話お話し大会		おおぎみ展 ~ 31日